

## 【経験の共有】震災復興・連続シンポジウム第4回

### 「神戸から東北、そして東南海に備える」

我が国は各種の巨大災害に見舞われる国であるが、近年では、阪神淡路大震災、中越沖地震、東日本大震災を経験してきた。そして今、首都直下地震、南海トラフ巨大地震の発生が予測される状況である。

災害にはそれぞれ特性があり、各災害復興の経験が直ちに今後発生する巨大災害の復興に適用できるわけではないが、復興にかかるこれまでの我が国の経験のストックを振り返り、今後発生する巨大災害で想定される被害、今後予測される社会トレンド、現状の政治経済状況等を勘案し、今、東南海地域が備えておくべきこととして、プランナーの役割及びそれを支える社会的仕組みは何かを討議する。

※【経験の共有】震災復興・連続シンポジウムは、日本都市計画家協会と東京大学生産技術研究所 ICUS との共同主催で開催します。

#### 《開催概要》

- 日 時：平成24年9月29日（土） 15:45～17:55
- 会 場：デザイン・クリエイティブセンター神戸  
（JSURP 主催「全国まちづくり会議 2012 in KOBE」開催会場内）
- 主 催：特定非営利活動法人 日本都市計画家協会  
東京大学生産技術研究所 都市基盤安全工学国際研究センター
- 入場無料

#### 《プログラム》

1. 趣旨説明：加藤孝明（東京大学准教授）
2. 基調講演「神戸から中越、そして東北へ～我々は何を学んだか」  
鳴海邦碩（大阪大学名誉教授）
3. 「東北、陸前高田での経験から学ぶ」中井検裕（東京工業大学教授）
4. パネルディスカッション  
コーディネーター：加藤孝明  
パネリスト：越山健治（関西大学）、佐々木晶二（内閣府）、中井検裕、鳴海邦碩
5. まとめ：加藤孝明（5分）

#### 《問い合わせ・申し込み》

申込み・問い合わせ：（NPO）日本都市計画家協会 事務局 E-mail: info@jsurp.net